

宣言!
祈ろう そして 復活を誓おう

医療法人東西会「世界に向けてのメッセージ」

SHOW THE FLAG!! 未来からの明かりを照らす!



未来への道しるべ

第2回

それでも私たちの近未来は希望に満ちあふれ明るい!

～コロナ禍大不況といわれている時代を生きるために～

不況は人災だよ!価値変換の進化に衰えがあるかもね!!自然界には不況はないのだから

感謝!!

伊予市特別救助隊(伊予レスキュー隊)

当日速やかに訪問看護師救出 および 当日速やかな生活道路復旧

令和2年7月7日10時30分ごろ、伊予市上唐川地区にて土砂崩れが発生。

伊予市役所に連絡するも道路復旧まで3～4日必要との返答。

当院松本事務長が伊予消防署に連絡し、現場にいた当院看護師を救出後、生活道路の復旧につながった。



「百聞は一見にしかず」

後日

〈在宅医療取材〉

令和2年7月12日/あいテレビより現地取材を受ける
令和2年7月13日/あいテレビ(Nスタえひめ)にて放映



感染症コロナ禍災害不況の時代の在宅医療には身体の危険が伴い安全・安心を担保することが必須である。

下記のごく患者の状態に応じて、マスクシールド、フェイスシールド等々の装着を義務づけることとする。

- (1) 通常患者において(下のA群、B群、C群)
 - A群) 悪性疾患末期 → マスクとマスクシールドが基本
 - B群) 看取りの患者および通常の発熱患者 → マスクとマスクシールドに変更可
 - C群) 通常(認知症・精神障害のみ)の患者 → マスクのみ
- (2) 新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者および原因不明の発熱患者 → マスクとフェイスシールドと防護服

※当院で実際に職員通達として配布した用紙の一部を抜粋。

〈災害現場風景〉

令和2年7月7日10時30分ごろ伊予市上唐川地区にて土砂崩れ発生。生命の危険、危機一髪の訪問看護であった。復旧には3～4日必要との見通しだった。

〈救出風景〉

在宅医療訪問看護師救出のための生活道路を復旧していただき、

当日 14時45分ごろ 当院看護師を無事救出! それにより生活道路が確保された。

災害時の詳細 令和2年7月7日

- 10:15 当院看護師が訪問看護のため患者さま宅へ到着。
- 10:30 伊予市上唐川地区で土砂崩れが発生。
- 10:45 訪問看護終了。帰路が土砂崩れにより通れなくなり、伊予市上唐川地区より脱出が困難に。
- 11:30 当院看護師から看護師長へ連絡あり。事務長が連絡を受け、看護師の安全確認を行う。

- 12:00 伊予市役所へ連絡するが「災害復旧に動いており、道路復旧まで3～4日必要」との返答。早期対策の検討を依頼する。
- 13:00 伊予消防署指令室から「土砂災害現場の奥に患者がいると聞いている。詳しく事情を聞きたい」と連絡あり。現在までの経緯を説明し、対応を検討する。再度連絡があり、状況説明をし、当日の看護師救出が決定。
- 14:00 土砂崩れ現場に伊予市特別消防隊(伊予レスキュー隊)が到着。
- 14:45 迂回路が緊急で復旧され、当院看護師を無事救出。

松山市災害対策本部

松山市二番町4丁目7-2 松山市役所本庁舎5F 災害対策本部室 災害対策用電話/089-987-7000

伊予市災害対策本部

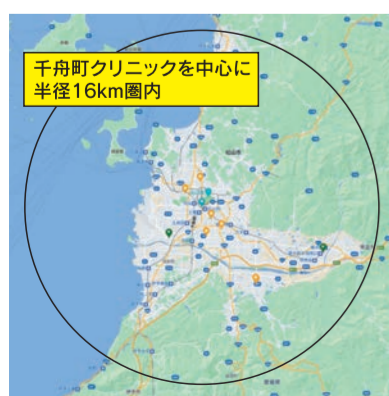
伊予市米湊820番地 伊予市役所総務部危機管理課 災害対策用電話/089-982-1218

松山市消防局 高度救助隊(スーパーレスキュー)

松山市本町6丁目6-1 松山市消防局中央消防署 電話/089-926-9222

お医者さんが来てくれる!

365日・24時間体制で対応 (松山市全域)



医療法人 東西会グループ

外来診療(かかりつけ医)内科 要予約
内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科
(医師/薬村 歩)

私たちは、質の高い在宅医療・看護・介護を目指しています。

在宅医療の範囲は、医療機関と患者様の所在地が半径16km以内とされています。
※絶対的な理由、特殊な事情がある場合は、この限りではありません。



医師数 22名

(令和3年6月現在)

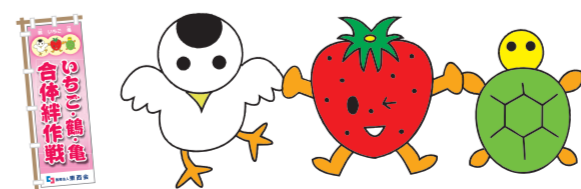
末期がん治療(緩和ケア) 相談室開設!

安全・安心・健康塾

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール)

現場の人達を救命救急士として教育する「安全・安心・健康塾」の出張講義をボランティアで行っております。



(医)東西会イメージキャラクター「イチゴ・ツル・カメ」三世代の『絆』を表すキャラクターです。イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

東京大学医学部臨床研究協力機関 愛媛大学医学部臨床研究協力機関

大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関 関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所 (医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788
http://www.touzaikai.jp/